

令和 8 年度（2026 年度）（第 2 期試験）

東北大学大学院教育学研究科博士課程

（前期課程・外国人留学生特別選抜）  
入学試験問題（小論文）

注 意

- 1 試験時間は 120 分。
- 2 問題紙は 5 枚(表紙を除く)、解答紙は 4 枚。
- 3 設問Ⅰ、設問Ⅱの解答はそれぞれ所定の用紙に記入すること。

## 設問 I

以下の文章をよく読んで次の問いに答えなさい。

- (1) 本文章は、「銀行型教育」と呼ばれる教育観を批判的に論じたものである。この文章の内容を踏まえ、「銀行型教育」とはどのような教育のあり方であり、それが人間の学びや知の形成にどのような影響を及ぼすと筆者は考えているのかについて、350字以内で要約しなさい。
- (2) 本文章は、今から約 50 年前に書かれた教育批判である。AI が知識の検索や生成を担いつつある現代において、この教育批判が有する現代的意義を考え、それを踏まえた上で今日の人間の教育はどのようなべきかについて、あなた自身の考えを 400 字以内で述べなさい

ここに以下の文献の 79 頁 10 行～81 頁 11 行が入ります。

パウロ・フレイレ（三砂ちづる訳）『新訳 被抑圧者の教育学』叢書、2011

ここに以下の文献の 81 頁 12 行～84 頁 3 行が入ります。

パウロ・フレイレ（三砂ちづる訳）『新訳 被抑圧者の教育学』亜紀書房、2011

出典

パウロ・フレイレ（三砂ちづる訳）『新訳 被抑圧者の教育学』亜紀書房、2011、P79～84.

原著：「Pedagogia do Oprimido」Paz e Terra 社、2005 年、第 46 版

## 設問Ⅱ

以下の図表は「令和 6 年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」における、「暴力行為」についての結果の一部である。これらの図表を見て次の問いに答えなさい。

- (1) 図表から読み取ることができる、日本の学校における「暴力行為」の現状について 400 字以内で述べなさい。
- (2) (1) の回答を踏まえ、さらに研究を深めていく場合、あなたであればどのようなリサーチクエスチョンを持ち、どのような方法によってどのように研究を進めていくか。あなたの考えを述べなさい。

ここに「令和 6 年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査について」より

9 頁「＜参考 1＞暴力行為発生件数・発生率の推移」を加工した表、及び

10 頁【②対教師暴力】を加工した表が入ります。

ここに「令和 6 年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査について」より

10 頁【③生徒間暴力】を加工した表、及び

11 頁【④対人暴力】を加工した表が入ります。

ここに「令和 6 年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査について」より

11 頁【⑤器物損壊】を加工した表、及び

12 頁「<参考 4 >学年別加害児童生徒数のグラフ」が入ります。

令和 8 年度 (2026 年度) (第 2 期試験)

東北大学大学院教育学研究科博士課程

(前期 2 年の課程・一般選抜および社会人特別選抜  
および外国人留学生特別選抜)

臨床心理学コース

入学試験問題 (専門科目)

注 意

1. 試験時間は 120 分。
2. 問題紙は 1 枚 (表紙を除く)、解答紙は 5 枚。
3. 解答は所定の用紙に記すこと (設問 I ~ 設問 III の解答は各 1 枚の解答紙を用いて、設問 IV の解答は 2 枚の解答紙を用いて、(1) ~ (4) を 1 枚目、(5) ~ (8) を 2 枚目に記入すること)。
4. 全ての解答紙に受験記号番号を記入すること。

……………臨床心理学コース……………

【設問Ⅰ】 不治の病に罹患し、死を前にしたクライアントの苦痛を軽減する支援において留意すべき事柄として、①心理職のクライアントに対する態度、②心理職の死生観、③医師と心理職との協働のあり方、④その他あなたが重要と感じる事柄について述べなさい。ただし、クライアントの意識状態は明晰である場合とする。 (20点)

【設問Ⅱ】 心理療法の効果要因について、ランバート (Lambert) らの研究などを参考に、考えるところを述べなさい。 (20点)

【設問Ⅲ】 不登校の中学生とその保護者が来談した際に、心理職として重要と思うアセスメントの視点と初回面接の方針について述べなさい。 (20点)

【設問Ⅳ】 以下の用語をそれぞれ5行程度で説明しなさい。 (各5点)

- (1) 児童相談所
- (2) 抗精神病薬
- (3) ストレンジ・シチュエーション法
- (4) ローカス・オブ・コントロール
- (5) 交流分析
- (6) 無条件の肯定的な配慮 (unconditional positive regard)
- (7) 投影法
- (8) 確認的因子分析

(以下余白)